眠るパリ（1923）

THE CRAZY RAY
PARIS QUI DORT

メディア 映画
ジャンル ファンタジー　ドラマ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 60分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

突如として時の止まってしまったパリの町。人も車も何もかも静止した中で、青年は恋人と時を取り戻すべく奔走する。その夢幻的スラップスティック感覚の見事さ、おかしさ。そびえるエッフェル塔をこれだけ印象的に描いた映画はない。クレール、サイレント期の実験的作品の系統に属する作品だがその後の商業映画でみせる作風は既に完成されている。

この映画は“パリの街は眠っていた。”の字幕で始まる。科学者クルーズ博士が発明した光線で、世の中の時間がストップしてしまったのだ。パリで一番高い場所、エッフェル塔に住むアルベールだけが光線を浴びていなかった。砂漠のように静かな街を、青年は歩き回る。人々も車も全て途中の動きで止まっている。入水自殺しようとする人にお金を握らせてみたり、ちょっとそんな世の中も楽しんで見たりする。そのうち彼は、ちょうどパリが眠りに入ったところで空から飛行機で着陸した人、車でたどり着いた人に出会う。たまたまこの災難に合わなかった６人は、やがて博士の姪っ子と出会い、叔父さんのたくらみを何とか止めてほしいと相談されるのだ……。

【クレジット】

監督	ルネ・クレール	Rene Clair
脚本	ルネ・クレール	Rene Clair
撮影	モーリス・デファシオ	
	ポール・ギシャール	
出演	アンリ・ロラン	Henri Rollan
	アルベール・プレジャン	Albert Prejean
	マドレーヌ・ロドリグ	Madeleine Rodrigue
	マルセル・ヴァレ	Marcel Valle

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.